

わたしの好きなこと

一宮南部小・4 高柳 星良

わたしの好きなこと。おいしいご飯を食べること、クラスの子と
おにごっこをすること、友だちのおしゃべり、お絵かきや工作。
いろいろあるけれど、一番好きなことはピアノをひくことです。

ピアノのどんなところが好きかというと、音と音がつながり、か
さなり、曲ができるということです。速くひいたり、強くひいたり、や
さしくひいたり、同じ曲でもひき方でちがう曲のようにも聞こえま
す。お姉ちゃんといっしょにひくピアノも楽しいし、一人で新しい
曲やむずかしい曲を練習するのも楽しいです。ひいているとついっ
い時間をわすれてひいてしまいます。気がつくと手や指がいたくな
っているときもたくさんあります。

五歳の時にお姉ちゃんが習っていたので

「わたしもやりたい！」

と言い、習い始めました。レッスンバッグや楽ふをもらい、とって
もうれしかったです。レッスンの時に

「お願いします。」

「ありがとうございます。」

とあいさつするのがはずかしかったけど、レッスンは大好きでとて
も楽しかったです。まだ小さかったので、たまに先生にだっこされ
てねてしまうこともありましたが、先生はいつも

「上手ね。」

とやさしい笑顔でほめてくれるのでうれしかったです。

初めは「ド」の音ばかりでしたが、だんだん音がふえ、使う指も
ふえました。音ぶや記号の意味や読み方、書き方も練習しました。

小学校に入るころ、ちがうピアノ教室に行くことになりました。

その教室では、むずかしい曲をたくさん教えてくれました。わたし
はますますレッスンの日が楽しみになりました。

ピアノ教室では年に一度発表会があります。大きな会場でドレス
を着てひきます。

発表会の曲はいつもレッスンでひいている曲よりもむずかしい曲
を選びます。半年ほど前から先生といろんな曲を聞き、自分のひき
たい曲を選びます。先生のおすすめの曲や去年の発表会でひいた曲
などたくさんまよいましたが、今年は中田喜直作曲の「エチュード
アレグロ」とブルグミユラー作曲の「大雷雨」という曲にしました。

この二曲は指の動きがとても速く、はげしく、むずかしい曲です。

まず初めに、二曲とも知らない曲だったので、先生にひいてもら
ったり、家で調べて聞いたりしました。音ぶも多く、曲を覚えるだ
けでも苦労しました、むずかしいので一曲ひけるようになるまで三
か月ほどかかりました。やっとひけてもテンポがおそかったりと、
なつ得できるような曲になるのは本当に大変でした。

家での練習時間もふやし、毎日ががんばりました。夏休みに入っ
ても上手にひけない日々が続き、心配になってきました。

八月四日、ついに発表会の日がきました。朝からドレスに着がえ
ました。お姉ちゃんは赤色、私はこん色のおそろいのドレスです。
かみの毛はあみこみをしてもらい、きらきらのピンをたくさんつけ
てもらいました。

かわいいいくつをはき、いよいよ会場に行きました。会場に着くとお客さんがいっぱいでした。この日はおじいちゃんとおばあちゃんも見に来てくれました。

私の番がやってきました。ステージの上でおじぎをします。前を見ると人がたくさんいて、心ぞうがどきどき、手足はぶるぶるしました。

でも、いすにすわるときんちようが止み、とても楽しく、上手にひくことができました。

終わった後お母さんに

「すごく上手だったね。」

とほめられ、先生からも

「とつてもよくできたね。」

と言ってもらい、うれしかったです。

ピアノは毎日ひかないといけません。たまには遊びたい、あとでいいやと思うこともあります。上手にひけるとやっぱりやっていて良かったと思います。これからも楽しくピアノをひいていきたいと思っています。